

平成 19 年 11 月 13 日

会社名 小倉クラッチ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小倉 康宏
 (JASDAQ・コード6408)
 問合せ先 常務取締役 河内正美
 TEL (0277)54-7101(大代表)

特別損失の計上並びに平成20年3月期中間(連結・個別)業績予想及び 通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

当社の平成20年3月期中間決算において下記のとおり有価証券評価損による特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせいたしますとともに、平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の中間期及び通期の業績予想について、平成19年5月16日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の計上及びその内容

当中間会計期間において、当社保有の株式会社東和銀行株式の株価下落により、投資有価証券評価損211百万円を計上する見込みであります。

2. 平成20年3月期中間連結業績予想値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (19年5月16日発表)	26,700	420	580	200
今回修正予想(B)	25,599	528	741	13
増減額(B-A)	△ 1,101	108	161	△ 187
増減率(%)	△ 4.1	25.7	27.8	△ 93.5
(ご参考) 前期(19年3月期)実績	26,363	1,182	1,262	542

3. 平成20年3月期通期連結業績予想値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (19年5月16日発表)	52,000	780	1,000	390
今回修正予想(B)	51,000	890	1,160	190
増減額(B-A)	△ 1,000	110	160	△ 200
増減率(%)	△ 1.9	14.1	16.0	△ 51.3
(ご参考) 前期(19年3月期)実績	50,840	1,210	1,556	816

4. 平成20年3月期中間個別業績予想値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益 (損失)
前回発表予想 (A) (19年5月16日発表)	18,140	300	370	190
今回修正予想 (B)	18,026	200	210	△ 138
増減額 (B - A)	△ 114	△ 100	△ 160	△ 328
増減率 (%)	△ 0.6	△ 33.3	△ 43.2	—
(ご参考) 前期(19年3月期)実績	18,048	177	268	120

5. 平成20年3月期通期個別業績予想値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (19年5月16日発表)	36,300	720	850	470
今回修正予想 (B)	36,000	600	740	140
増減額 (B - A)	△ 300	△ 120	△ 110	△ 330
増減率 (%)	△ 0.8	△ 16.7	△ 12.9	△ 70.2
(ご参考) 前期(19年3月期)実績	36,865	483	782	463

6. 修正の理由

(1) 連結業績予想

中間期の売上高は予想を下回る見込みですが、海外子会社の健闘などにより、営業利益、経常利益とも予想を上回る見込みです。また、特別損失として投資有価証券評価損(211百万円)を計上した結果、中間純利益は当初予想を下回る見込みです。

通期については中間期の実績見込を踏まえ、営業利益、経常利益、当期純利益を算出しました。

(2) 個別業績予想

中間期の売上高はほぼ予想通りの見込みですが、原材料価格(鋼材、銅線)の高騰や一般産業用クラッチの利益率低下等により営業利益は減少する見込みです。また、特別損失として投資有価証券評価損(211百万円)を計上した結果、中間純利益は当初予想を下回る見込みです。

通期については、対ドル為替レートの影響等を勘案した結果、営業利益、経常利益、当期純利益とも当初予想を下回る見込みです。

以 上